

FACE



全ての消化器疾患に対応 サポートし合える体制で



消化器内科が担当する領域は非常に広く、食道・胃・十二指腸・小腸・大腸から構成される消化管と、肝臓、胆道（胆嚢・胆管）、膵臓が対象臓器で、これらの臓器に生じる病気の診断、治療を行っています。2025年4月現在、11人の常勤医師で良性疾病から悪性疾病まで全ての消化器疾患に対応しております。

救急症例に24時間対応

当院では2021年4月に救急科が新設され、救急受け入れ件数が増加しています。消化管出血、急性胆管炎等の緊急内視鏡処置が必要な症例に対して、日中はもちろんのこと、夜間も毎日オンコール体制を整え対応しております。近隣の診療所で施行された内視鏡的ポリープ切除後出血等に対しても、診療所の先生方と連携し、当科で対応させていただきます。また緊急手術が必要な症例に関しては、外科と緊密に連携し遅滞なく治療を進める体制が整っています。

悪性腫瘍に対する治療

滋賀県立成人病センターの時代から、当院では癌に対する専門的な治療を行ってきた歴史があります。胃などの消化管にできた早期癌に対しては、内視鏡を用いた腫瘍の切除（内視鏡的粘膜下層剥離術、ESD）を積極的に行い、良好な成績を治めております。

内視鏡切除が困難な進行癌の症例では遅滞なく外科に引き継ぎ手術を受けて頂いたり、腫瘍内科・放射線治療科と相談し抗癌薬治療や放射線治療を行えるような、各診療科とスムーズに連携できる環境が整っております。

肝臓に対する治療では、適応となる症例においてはラジオ波焼灼療法（RFA）を施行したり、放射線診断科との連携のもと、肝動脈化学塞栓療法（TACE）を施行しています。

高度な内視鏡検査・治療

上記の内視鏡的な腫瘍の切除以外にも、幅広い内視鏡検査・治療に対応しております。

総胆管結石等の良性胆膵疾患に対するERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）関連処置だけでなく、悪性胆管

狭窄（膵癌・胆管癌などによる胆管狭窄）に対するステント留置術も常に施行可能です。

また、超音波内視鏡を用いた膵仮性嚢胞ドレナージ（EUS-CD）や胆道ドレナージ（EUS-BD）も導入しており、必要な症例では速やかに治療を進めております。

大腸ポリープに対する内視鏡的ポリープ切除術については、これまでは主に入院でポリープ切除を行う診療体制でしたが、今年度からは小さなポリープに関しては外来で切除させて頂く体制を準備しています。

小腸疾患に対してはカプセル内視鏡やバルーン内視鏡で精査することが可能です。

本年の秋には内視鏡設備の大幅な入れ替えを行い、最新機種を導入する予定です。

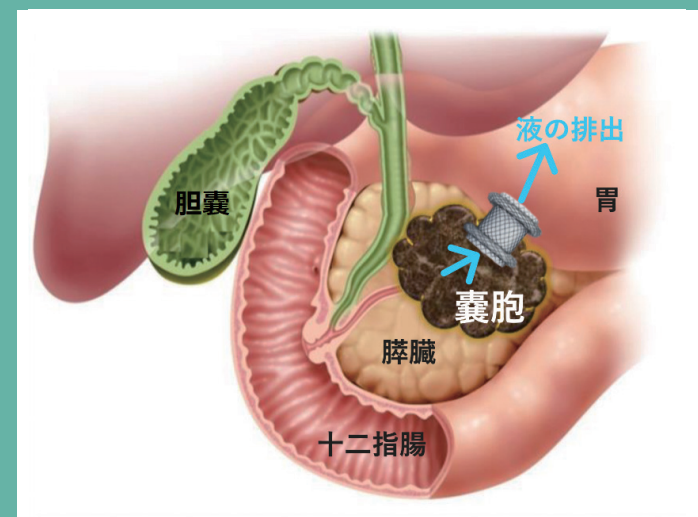
良性疾病にも対応

消化器領域には慢性胃炎（ヘリコバクター・ピロリ感染）、慢性肝炎、炎症性腸疾患、自己免疫性膵炎等の良性疾病も多数あり、そういった疾患の加療も当科の診療対象です。地域の開業医の先生方と連携させて頂きながら、良性疾病に対する診療もさらに充実させて参ります。

Hot AXIOSシステム 導入

急性膵炎に伴う局所合併症として膵仮性嚢胞（PPC）や被包化壊死（WON）と呼ばれる液貯留を生じることがあります。それらの液貯留に感染を起こした場合にはドレナージ（液の排出）が必要になります。

そのような症例では、超音波内視鏡下膵仮性嚢胞ドレナージ（EUS-CD）という処置を行います。先端に超音波装置がついた内視鏡を使用して、胃の中から膵臓及び液貯留部位を確認し、プラスチック製のチューブを入れて液を抜き取る処置（ドレナージ）を行うのが一般的ですが、大きな嚢胞では大口径の金属ステントであるHot AXIOSシステムを用いることで、より効果的なドレナージを行うことができます。本デバイスの使用資格を保有したスタッフ（栗山）が赴任しましたので、今年度から当院でも施行可能となりました。本治療で効果が期待できる症例では、患者さんに提案させていただきます。



提供元：Boston Scientific Corporation.

消化器内科 科長 兼 内視鏡部 部長

栗山 勝利

チーム力で最高の医療を

医学部生として病院実習で消化器内科を研修した際に、初めて内視鏡（胃カメラ）検査を見学し、その時に内視鏡検査の素晴らしさ、魅力に引き込まれ消化器内科医になりました。同じ滋賀県内の大津赤十字病院で消化器内科医として歩み始めました。

今でも内視鏡検査・治療に携わっていると充実感を感じ、さらに自分の技術を高めたいという思いを持ちます。しかし、自分一人ですることには限りがありますので、最近の後進の教育に力を入れるようにしています。当科の若手医師は皆やる気にあふれているので、やりがいを感じています。

また、近年では働き方改革が医療界にも広がっており、主治医一人で頑張るのではなく、消化器内科のメンバー全員がサポートし合える体制づくりを進めています。チーム一丸となり最高の医療を提供できるよう精進して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

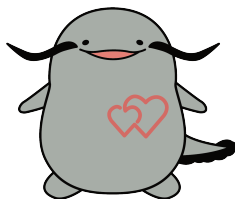


京都大学博士（医学）
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医
日本肝臓学会 肝臓専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本胆道学会 指導医
日本膵臓学会 指導医
日本カプセル内視鏡学会 認定医・指導医
京都府京都市出身
2017～2021年、2025年～当院に勤務

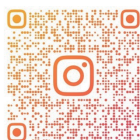
Information

滋賀県立総合病院Instagram・Facebookのご案内

病院の活動を発信しています。
ぜひフォローをお願いします！



イメージキャラクター「びわづん」



Instagram



Facebook

ご意見・ご感想募集

滋賀県立総合病院広報誌「FACE」へのご意見や
ご感想をぜひお寄せください。

お住まい、年齢、ご意見・ご感想を下記フォーム
よりお送りください。

滋賀県立総合病院の広報誌
「FACE」に関するアンケートフォーム



笑顔で患者に寄り添いチームで取り組む姿勢を基本とし
子どもから大人まで安心・信頼・満足の得られる高度かつ専門的な医療の実現



滋賀県立総合病院
Shiga General Hospital

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4番30号
TEL：077-582-5031（代）／0570-00-5031（ナビダイヤル）
〔診療受付時間〕 午前8時30分～午前11時 ※2科受診の患者様を除く
〔休診日〕 土曜日・日曜日、祝祭日／年末年始（12/29～1/3）
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/index.html>

Q 滋賀県立総合病院：



FACE

滋賀県立総合病院広報誌

発行：滋賀県立総合病院広報委員会（事務局総務課）
発行日：2025年7月

バックナンバーも
ご覧いただけます

